

複式第5・6学年 国語科「読むこと」の領域における年間指導計画例（光村図書）

月	5年単元名・教材名	時	6年単元名・教材名	時	形態	単元展開の概要・留意点
4	<物語・導入単元> 本に親しみ，人間を見つめよう 「新しい友達」	8	<物語・導入単元> 本に親しみ，自分と対話しよう 「カレーライス」	8	学年別	原則的に同単元教材の扱いであるが，導入時に両学年のめあてや朗読の方法について，二個学年を見通した到達目標を知る。学習の最後に，朗読発表会を行う。
4	<説明文・基本単元> 要旨をとらえよう 「サクラソウトトラマルハナバチ」	6	<説明文・基本単元> 文章を読んで，自分の考えを持とう 「生き物はつながりの中に」	6	学年別	学年別指導を行うが内容を同内容にして，指導の効率化を図る。5年生は，同単元教材にするため，教材の入れ替えを行った。
5	<詩> 「時間」 「海雀」 「雪」	3	<詩> 「短歌俳句の世界」	4	学年別	両学年とも「詩」の内容だが，6年生の短歌俳句には，定型があり，しっかりその特徴を指導するために単元別指導とする。単元最後には両学年一緒に発表会を行う。
6	<説明文・読書情報活用単元> 読書世界を広げよう ①千年の釘にいどむ ②本は友達	13	<物語・読書単元> 読書世界を深めよう ①森へ ②本は友達	13	同単元	同単元教材にし，1年目は「森へ」，2年目は「千年釘にいどむ」の授業を行う。学習の最後に感想交流活動を行い，感想や意見の交流を図る。下位学年への言語事項などの配慮をする。
9	<詩> 「未確認飛行物体」	2	<詩> 「船」 「りんご」	2	同単元	同単元教材にし，1年目は「船」「りんご」，2年目は「未確認飛行物体」の授業を行う。下位学年への言語事項などの配慮をする。
10	<物語・基本単元> 人物の考え方や生き方をとらえよう ①わらぐつの中の神様 ②方言と共通語	8	<物語・基本単元> 表現を味わい，豊かに想像しよう ①やまなし ②イーハトーヴの夢	8	学年別	学年別指導を行う。感想交流活動を学年別，全体と2段階に分けて行うことで，より集団化を図り，多様な考え方に気づかせる。下位学年には，事前に上位学年の教材を読ませる。
11	<説明文・情報活用単元> 目的に応じた伝え方を考えよう 「ニュース番組作りの現場から」 「工夫して発信しよう」 〔編集して伝える〕	14	<説明文・情報活用単元> 筆者の考えを受け止め，自分の考えを伝えよう 「平和のとりでを築く」 「自分の考えを発信しよう」 〔インターネットと学習〕	14	同単元	同単元教材にし，1年目は「平和のとりでを築く」，2年目は「ニュース番組作りの現場から」の授業を行う。学習の最後に意見交流活動を行う。国語科の目標と教育活動全般との相乗効果を図り，伝え合う力を高める。
2	<詩> 「ねぎぼうず」「ケムシ」 「耳」「蝶」	2			学年別	学年別異単元教材で学習を進める。
3	<物語文> 学習してきたことを生かして 「大造じいさんとガン」	15	<物語文> 学習してきたことを生かして 「海の命」 「今，君たちに伝えたいこと」 「生きる」	12	学年別	学年最後の単元なので，学年別指導を行う。各学年の学習内容の振り返りながら学習を進める。特に6年生は，小学校最終学年のため中学校の授業（専科）についても意識させる。